

厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)  
分担研究報告書

3学会合同「がんゲノムネット」を用いた、国民への「がんゲノム医療」  
に関する教育と正しい情報伝達に関する研究に関する研究  
研究分担者 清水 千佳子  
国立国際医療研究センター・乳腺・腫瘍内科・医長

インターネットなどを用いた情報配信事業については、情報ツール、コンテンツ及び運営方針（記事更新のタイミングなど）を決定し、分担執筆者を選定する。出版事業に関しては、書籍名、内容、項目を決定し、出版社、分担執筆者を選定する。市民向けのゲノム講習会や3学会の学術集会内でのシンポジウム、教育セミナー、市民公開講座については、平成30年度の開始を目標とする。事業全般において、分担研究者とその研究班などから、がん患者、患者家族に対するコミュニケーション方法について情報収集し、情報発信に役立てる。

#### A. 研究目的

一般の患者に向けて、がんゲノム医療の概要と利点・欠点等を科学的エビデンスに基づいて平易な形で説明するツールを作成することを目的とする。

#### B. 研究方法

上記の目的を達成するために、日本臨床腫瘍学会・日本癌学会・日本癌治療学会のホームページからリンクするホームページの作成を進行している。又、「よくわかるゲノム医療」の出版物の作成を進めている

#### C. 研究結果

班会議を通じて、ホームページおよび冊子の内容やClinical Questionの策定を行い、これについて班内での合意形成を行った。また、執筆者の選定作業を行った。

#### D. 健康危険情報

特記すべきことなし

#### E. 結論

3学会合同WGでがんゲノム医療情報発信に向けた

基盤を築くことが可能であった。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

##### 1. 特許取得

なし

##### 2. 実用新案登録

なし

##### 3. その他

なし